

北九州市立枝光台中学校

**えだみつだい**

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を  
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」**令和6年度 一学期、始業式で話した内容です。**

今日から新学期、新しい先生も迎え、君たちも一つ上の学年に上がり、また新しい気持ちでスタートを切ることになります。本校の校訓に「邂逅」という言葉があります。意味は「出会い」「めぐり逢い」という意味です。本校の校訓にあるように新しい先生や友だちとの出会いを大切にこの一年を過ごしてください。

新年度を迎えるにあたり君たちに考えてもらいたいことがあります。それは、「枝光台中学校の自慢は何ですか。一つだけあげてください」と問われたときに何と答えるかです。自慢はたくさんあると思いますが、まず考えてみてください。実は、この春卒業した3年生に同じ質問をしたことがあります。答えの多くが「一学年に2クラスしかない。そのため、みんなの仲がすごく良いです」といった答えや「体育大会や文化発表会等の行事が大いに盛り上がり、一体感が広がります」といった答えでした。また、君たち自身のアンケートからは「学校に行くことが楽しいか」の問いに、9割を超える生徒が「ハイ」と答えてくれています。そうした卒業した先輩の声や皆さんのアンケート結果から考えると、枝光台中の自慢の一つには「友だち好きが多いこと」それと「学校好きな人が多いこと」と言えるかなと思いました。すばらしいことだと思います。今日からの一年、この気持ちを大切に過ごしてほしいと思います。

「枝光台中が好き」という方は君たちだけではありません。地域の方も枝光の子どもたちを大切に思っている方が多くいます。その象徴が地域の方と一緒に学校で行う「もちつき大会」や君たちが二十歳になった時に行われる「地域成人祭」です。学校ぐるみ地域ぐるみで行われるもちつき大会は、よその学校でやっているといった声は、最近ではあまり聞かなくなりました。また、地域で行われる成人祭は、北九州市内で実施しているのはたったの4か所です。「もちつき大会」も「成人祭」も数十年続く伝統行事となっています。それだけ地域の方の君たちを思う気持ちが強いことの現れだと思います。私の住んでいるところにはそうしたことはありません。地域の方から大切にされている君たちは幸せだなと思います。

君たち自身も学校の友だちだけでなく家族はもちろん地域の方も大切に思う気持ちをもってこの一年そしてこれからを過ごしてほしいと思います。

**この春 異動された先生方です。**

先生方の氏名は個人情報保護の観点から  
非表示とさせていただきます。

(お世話になりました)

(よろしく申し上げます)